

平成30年度 埼玉県高等学校 PTA 連合会

南支部役員等県外研修会

平成30年10月14日

家庭教育における PTA 活動の可能性

～家族間のコミュニケーションの大切さ～

埼玉県立川口東高等学校

後援会会長 田口由美子

学校概要

川口市北東部に位置し、緑豊かな地に昭和53年開校。校訓は「心」。「豊かな心」を育てほしいという願いが込められています。

研究発表・家庭教育と PTA

* 家庭はすべての教育の出発点

家庭教育とは何か？という素朴な疑問を解決するべく、文部科学省のホームページをのぞいてみた！

- ・子供たちにとって「家庭」は安らぎのある楽しい居場所
- ・社会へ巣立っていくために欠かせない場所
- ・親の笑顔が子どもの笑顔を作ります。

親子が共に学び育ち合う「家庭教育」を地域全体で応援する。そんなやさしい社会が子供たちの未来（あした）を育てていきます。

(引用：<http://katei.mext.go.jp/contents1/index.html>)

このテーマを基にアンケートを実施。

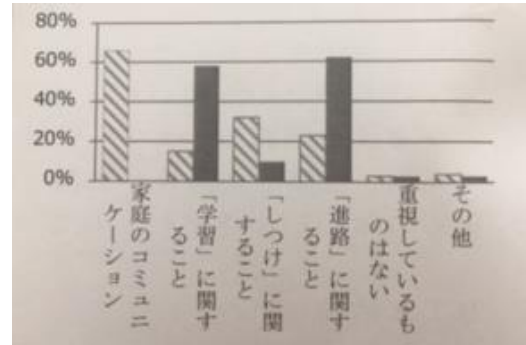
アンケート結果

Pで行った独自のアンケート

斜線：家庭教育で重視していること

塗潰し：学校教育に期待すること

しかし、アンケートの回収率を見てみると生徒が95%、保護者が24%と信憑性に疑問が残る結果となってしまった。



PとTの協働によるアンケート

24%という結果を受け、三者面談時にアンケート回収をしたところ、ほぼ100%の回収率となりました。お子さんは進路に関してどれくらい話をしてくれますか?のアンケートでは、「話をしてくれる」「とてもよく話をしてくれる」の2項目を合わせると65%超。3年生においては「全く話さない」が0%ということから子どもは家族に話をしたいと思っていることが分かります。回収方法の改善により、より正確な考えが見えました。

進路を考える上で、子どもが保護者にしてほしくないと考えているポイント

回答の多かった5つを挙げる。

- 1位 「自分で考えなさい」まかせっきり
- 2位 子どもの進路先に対して望みが高い
- 3位 プレッシャーをかけること
- 4位 頭ごなしに子どもに夢や進路先の希望を否定する
- 5位 自分の考えを押し付ける

任せきりが1位という結果になった。この結果は、「話をきいてほしい」と子供たちは切に願っているのではないかと考える。

*アンケート結果を家庭教育に活かすために、結果をフィードバックする事により、子どもの考えを理解し踏まえ、家庭での話し合いが可能になる。

川口東高校は「子どもを真ん中に学校と家庭が協働できるPTA活動」を進めていく。

*アンケートの回収方法を少し変えるだけで、正確回答を得ることができるとわかった。

～感想～

初めて研修会に参加させて頂きました。貴重な体験をありがとうございました。

今回の研修で、改めて自分の子どもへの接し方を考えさせられました。

気張らずに一緒に楽しく模索しながら、成長していけたらと思います。

巣立つ時はすぐ目の前です。一瞬一瞬を見逃さないよう寄り添っていかれたらと思います。

皆様の素敵なお話ありがとうございました。

報告者：堤 和子